

海外旅行(渡航)で気をつける感染症(下)

県感染症情報センター

きなき 感染症を 知る

◆51◆

うに気をつけましょ

水に潜む感染症は、A型肝炎、E型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフス、寄生虫など数多く

に手を洗うのが理想ですが、難しいことが多いため、アルコール成分を含むウェットティッシュなどを日本から持って行くことをお勧め

域では、ラクタに近づ

染の可能性があるので

▽羽目をはささない薬物に手を出したり、ゆきずりの性交渉によって感染する感

熱など体調に変化があるときは、入国前に検疫所に相談し、指示を受けてください。渡航先によっては、現地での行動歴(ラクタとの接触歴など)の報告が必要な場合もあります。

また帰国した際は、渡航時と同様、時差により、自覚が無くても体はストレスを受けており、帰国後には1割

不可能です。麻しん流行地から帰国後2週間以内に、風邪のような症状が出たときには、麻しんを疑って行動してください。受診する

例えは、熱帯熱マラリアは、発症後数日うちに治療を開始しないと、短期間で重症化し死に至ることがある感染症ですが、初期症状の発熱程度では渡航歴の情報が無いとマラリアと診断することは非常に困難です。

生水や動物に要注意

帰国後も体調管理を

日本のように、水道の蛇口から出る水をそのまま飲むのは、非常に少ないです。海外では水道水(生水)は一度沸かしてから飲む方がよいでしょう。

海外では、水は買っ

て飲むものと考えま

しょう。未開封のもの

を最安全です。また、

食事は十分に加熱調理

してあるもの、信頼でき

るものを食べるように

めします。

▽動物には気軽に近づかない

海外では、動物は狂

犬病、MERS(マーズ

Ⅱ中東呼吸器症候群)

や鳥インフルエンザな

どのウイルスをもって

くのは危険です。

さらに、殺菌されて

いないラクタ乳や肉も

食べないようにしてく

ださい。MERSが発

生している中東でラク

タと接触した方やラク

症もあります。一生後

悔することがないよう

に、節度ある行動をし

てください。

▽帰国直後は無理を

しない

帰国時に、下痢や発



厚生労働省がアニメ「マジンガーZ」を起用して麻しん予防の啓発を行っているが、ター○永井豪/タイナミック企画・M/Z製作委員会(出展)厚生労働省ホームページ内「麻しんについて」

また麻しんは、初期症状は発熱、せき、鼻水という風邪に似た症状であるため、麻しん事をお祈り申し上げます。